

歌って踊って音楽を楽しむ

2月15日 ライブ・ファイブ・プラス!ファミリーコンサート

金管五重奏団「ライブ・ファイブ・プラス!ファミリーコンサート」をアクシスカつらぎで開催。幅広い年齢層の参加者 180 人が訪れました。

コンサートでは、J-POP やクラシックなど誰でも楽しめる約 10 曲が金管楽器で生演奏され、参加者は迫力のある演奏を間近で楽しみました。また、参加者が演奏にあわせて歌ったり踊ったりする場面も見られるなど、盛りあがりを見せていました。



「パブリカ」の演奏にあわせて

春の訪れを感じる

2月16日 おおひと梅まつりが開催

大仁梅林・大仁神社境内で、今年で 27 回目を迎える「おおひと梅まつり」が開催されました。

雨が降る中での開催となりましたが、ピンクや白の美しい梅の花で彩られた会場は、晴れた日とはまた違った良さがあり、来場者たちは少し早い春の訪れを感じているようでした。また、雅楽・神楽、芸妓踊りなどのステージ発表や、飲食物の販売など、さまざまなイベントも行われ、にぎわいました。



雨の中でも美しく咲く梅の花

足のみを使って市内を駆け巡る

2月23日 第1回伊豆の国市ロゲイニング大会を開催

第1回伊豆の国市ロゲイニング大会を開催。54 チーム約 170 人が参加しました。大会では、市内各地に得点が決められたチェックポイントを設置。参加者は、制限時間内に自らの足のみを駆使して各地をまわり、写真撮影することでその合計得点を競いました。

参加者は、「どうやってまわろうか」「ここに行きたい」と話し合いをしながら、市内各所をめぐる旅を楽しんでいました。



勢いよくスタートを切る (アクシスカつらぎ)

地域の宝を守るために

2月23日 願成就院で合同防火訓練を実施

市では、国宝「運慶作諸仏」などが安置されている願成就院で、駿東伊豆消防本部、市消防団と連携した合同防火訓練を実施。約 50 人の消防関係者が、万一の事態に備えて危機意識を高めました。

今回は、防火訓練のほか、仏像群の避難が必要となった場合の対処法などの確認も行いました。

飯田靖之団長は、「現地で実際に確認できたこともあり、非常に有意義だった」と話しました。



大御堂に安置されている国宝を確認



ドローンを体験

ドローンを通じて親子の時間を

2月1日 ドローン撮影講演会を開催

第3回ファミリーサポートセンター交流会「パパといっしょにドローン撮影講演会」をアクシスカつらぎで開催。NHK 大河ドラマ『真田丸』オープニング映像などを手掛けたドローングラファーマスター・古賀心太郎さんを講師に招き、42 人の参加者が操作・撮影方法、関連法令など、ドローンの基礎知識を学びました。

また、終盤では実際に小型ドローンの操作体験も実施。参加者は、目を輝かせながら楽しんでいました。

学習の成果を披露

2月6日 葦山南小6年生児童がガイドに挑戦

葦山南小6年生児童 52 人が、日頃取り組んできた「葦山反射炉学習」の総仕上げとして、グループに分かれて葦山反射炉でガイドに挑戦しました。

児童たちは、「葦山反射炉の高さ」クイズを出すなど、アイデアを取り入れながら葦山反射炉の魅力を訪れた観光客などに伝えていました。児童のガイドのもと史跡内を見学した観光客は、「頑張りやだった。何より楽しく見て回れた」と顔をほころばせていました。



史跡内に散らばって積極的にガイドを行う児童

「戦国時代の土木工事」に迫る

2月8日 葦山城跡発掘調査現地説明会を開催

葦山城跡二ノ丸の発掘調査の成果を公開するため、葦山城跡発掘調査現地説明会を開催。110 人の参加者が、市学芸員の解説のもと葦山城跡を見学しました。

今回は、主に葦山城跡の曲輪や土塁を一部断ち切り、その構造を調査しており、参加者は、当時の土塁構築時に行われた「戦国時代の土木工事」の様子を見学。時折驚きの声を上げるなど、戦国時代に思いをはせていました。



「戦国時代の土木工事」に興味津々

毎年実施、姉妹都市間での交流

2月8・9日 長岡京市から市民訪問団が来訪

市の姉妹都市である京都府長岡京市から、33 人の市民訪問団が来訪。市友好都市交流協会会員ら 33 人と交流しました。同訪問は毎年実施されています。

今年は、市学芸員による解説を聞きながら葦山反射炉を訪れたり、願成就院の国宝「運慶作諸仏」を見学したりと、歴史に触れる充実した日程で、伊豆の国市を満喫しました。また、初日に行われた友好交流会では、久方ぶりの再会を喜び、交流を深めていました。



解説を聞きながら葦山反射炉を見学